

高鍋

平成28年
9月議会
No.147

議会だより

秋季大運

会



行方不明者 対応会議 総合運動公園得点掲示板

2P

議員登壇

8人が登壇

8P~13P

行方不明者 対応会議 先進地に学ぶ

5P

議員登壇

第8連携 更に交流と親睦

14P

平成28年度 9月補正予算

8536万円
を追加し
総額79億3867万円
になりました

津波避難タワー
建設予定地購入費
3359万円

花守山観光案内看板
設置設計工事費
300万円

町道維持整備工事費
2100万円

橋りょう工事請負費
550万円

県外大会出場奨励金
64万円

平成27年度決算 過去最高額を更新

一般会計 **82億2817万円** 特別会計 **56億9205万円**

主な事業	
認定こども園整備	849万円
町史編さん費	1800万円
定住移住促進事業費	575万円
総合運動公園得点掲示板	4444万円
舞鶴公園周辺活性化事業	523万円
松くい虫防除委託	736万円
蚊口海浜公園整備	347万円
中学校施設環境整備	4900万円
庁舎別館建設事業費	2億1165万円



認定こども園になった高鍋カトリック聖母幼稚園



区分	決算額		差引額
	収入済額	支出済額	
特別会計	一般会計	8,626,972	8,228,177
	国民健康保険	3,489,404	3,218,211
	後期高齢者医療	472,157	472,140
	下水道事業	347,507	339,962
	会議認定審査会	10,496	9,535
	介護保険	1,750,971	1,630,764
	一ツ瀬川雑用水管理事業	24,273	21,254
	西都児湯固定資産評価委員会	354	187
合計		14,722,134	13,920,230
			801,904

平成28年第3回定例会が9月5日から21日までの17日間の日程で行われ、報告3件、同意1件、決算認定9件、補正予算5件、条例4件、意見書1件等が上程されました。

より財政の健全度をはかる各種財政指標も改善されるなど財政規律を重視する一方で、各種の補助制度を積極的に活用し、生活環境の整備、防災対策事業・教育環境の整備に取り組むなど運営は効果的で、適正であったと認められる。国民健康保険は加入世帯は減少している。現在の財政は実質単年に、準備基金も5月末で4億6477万円積み立てられており、ここ数年間は収納額が減少している。このまま推移すると財政運営は厳しくなるものと推定される。今後とも医療費の動向を注視していく必要がある。

また、実質単年度収支は、黒字を計上しており、收支均衡の原則が貫かれ堅調なものになっている。歳入面では、自主財源である町税が441万円増加し、高い収納率を維持するなど、収納努力の結果として評価できる。借入金である町債は、庁舎別館建設や中央公民館の改修などにより増えている。基金は、公共施設等整備基金、ふるさとづくり（納税）基金の積み立てをしたことにより、545万円の増額となり、公共施設等の改善資金の確保に努められている。

総括として、これらの実績から、従前に引き続き財政健全化に取り組むとともに、基金の積み立てについても、監査委員より決算審査意見書が報告されました。その抜粋を掲載いたします。

◆本定例会に監査委員より決算審査意見書が報告されました。
その抜粋を掲載いたします。

单年度黒字だが更に財政健全化を



黒木代表監査委員

先進地に学ぶ 行政調査報告 産業建設委員会

◎期日：7月12日～13日

◎場所：岡山県矢掛町、兵庫県相生市

◎結果

矢掛ブランド認定で全国に発信。

協働のまちづくりで、人づくり。

矢掛町では「ブランドの認定」と「協働のまちづくり」について調査しました。平成21年度に矢掛町ブランド認定委員会を設立し、「矢掛町ブランド事業」を創設しました。そのブランド確立に向けての戦略事業は、「認定事業」と「育成事業」の2つの柱から成り立っています。

「認定事業」は、既存の商品を生産・販売する事業者や組合等を応募対象とし、公募で認定を受けたい事業主が申請をし、委員会において審査された後、町長が認定するものです。認定された事業者等は積極的に販売・PRを行い、町は全国発信するための支援を行っています。また、「育成事業」は、将来的にブランドとして認定されることを、目標として、発掘・育成する事業です。認定事業者は、その商品に矢掛町ブランド・ロゴマークを使用することができ、また、町のパンフレットやHPに矢掛町ブランド認定品を掲載するので、矢掛町を全国へPRする中でも重要な役割を担います。

次に「協働のまちづくり」は、町民が主体的に町政に参加するための基本的な事項を定め、町民と町が協働して地域社会の発展に資することを目的とする、「矢掛町まちづくり基本条例」が平成17年に制定されました。また、地域の実情や時代に対応した地域活力の維持・活性化対策を推進していくことを目的として、平成23年度より地域支援員制度が設置されました。

河川清掃でも地元の住民がボランティアで実施するというスタイルが、ほぼ全域で定着し、今では以前と見違えるほどのきれいな河川に生まれ変わり、協働のまちづくりの成功例となっています。



相生市子育て応援都市宣言施策で定住促進。 空き店舗にコミュニティレストランで商店街再生。

相生市では「定住促進」と「商店街活性化」について調査しました。財政状況の悪化が懸念される中、行財政健全化を進めながら、選択と集中により積極的な「子育て応援施策」や「定住促進施策」を展開している中、平成23年度には「相生市子育て応援都市宣言」を行い、積極的な子育て応援施策を展開し日本一、子育てしやすいまちを目指しています。将来の人口減少を最重要課題とし「第二期行財政健全化計画」をスタートさせ、行政改革による効果的・効率的な行政運営に取り組み、その姿勢を示すため、「宣言」を行い、子育て世代をターゲットに定住促進を図りました。

定住施策開始以降、人口は社会増減の幅が半減し、平成27年度末には社会増減がプラス92人となり施策に一定の効果が認められました。

相生市は、古くから造船業を中心とした工業都市として発展してきましたが、造船業の衰退とともに、商店街の活気は低下しました。

このような現状を好転させるため、商店街は毎年季節ごとのイベントを行ってきましたが、阪神淡路大震災を契機に、有機野菜生産者とネットワークを築き、街なかで朝市による販売拠点をつくり、この朝市を発展させ、平成15年には国と県と市の助成により、商店街の空き店舗に、コミュニティレストラン「よりあいクラブ」をオープンさせ、地域の活性化と商店街の再生をその目的としています。

開設当初から商店街に人の流れが増え、マスコミ等にも取り上げられ、商店街の知名度やイメージが向上してきた。今後の展望として、この「よりあいクラブ」を地域高齢者の健康と元気の拠点とし、商店街を軸にした、まちづくりを推進して行きたいとのことでした。

条例改正

*高鍋町税条例等の一部改正について

*高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について

*高鍋町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

*高鍋町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について

～意見書～

《採択》

◎教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための
2017年度政府予算に係る意見書

人事

■高鍋町教育委員 小泉桂一氏（2期目）

平成28年 第3回定例会 可否表

○賛成 ×反対
(議長は表決に加わりません)

番号	件名	賛成	反対	池田	水町	山本	津曲	岩村	崎木	青木	柏木	後藤	中村	黒木	黒木	春代	八緒	永友
同意第1号	教育委員会委員の任命について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第44号	防災行政無線戸別受信機の購入について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第45号	平成27年度高鍋町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	平成27年度高鍋町一般会計歳入歳出決算について	12	3	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
認定第2号	平成27年度高鍋町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について	12	3	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
認定第3号	平成27年度高鍋町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	平成27年度高鍋町下水道事業特別会計歳入歳出決算について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	平成27年度高鍋町介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第6号	平成27年度高鍋町介護保険特別会計歳入歳出決算について	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
認定第7号	平成27年度高鍋町一ツ瀬川稚用水管理事業特別会計歳入歳出決算について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第8号	平成27年度西都児湯固定資産評価審査委員会特別会計歳入歳出決算について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第9号	平成27年度高鍋町水道事業会計決算について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第46号	高鍋町税条例等の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第47号	高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第48号	高鍋町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第49号	高鍋町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第50号	平成28年度高鍋町一般会計補正予算(第2号)	13	2	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第51号	平成28年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第52号	平成28年度高鍋町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第53号	平成28年度高鍋町介護認定審査会特別会計補正予算(第1号)	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第54号	平成28年度高鍋町介護保険特別会計補正予算(第1号)	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

委員会

質疑

総務環境

産業建設

問 各金融機関の窓口で収納される公金に対し、1件あたり手数料が30円であるが、今後増額の予定はあるのか。

答 金融機関からの増額の申し入れはない。

問 滞納者に対する対応は。

答 督促や催告を行い、法に基づき差し押さえを行う。

問 エコクリーン・プラザへの貸付金については。

答 10月末に行われる裁判の結果次第である。

問 旧火葬場の解体については。

答 費用は1市3町で支払い、整備後の管理は西都児湯環境整備事務組合で行う。

問 参議院選挙における、高鍋町の18歳19歳の投票率は。

答 18歳は47.69% 19歳は32.63%で 平均40.6%。全体では54.12%であった。



問 耕作放棄地等の対応策は。

答 農地利用状況調査、農地利用意向調査等により、対応している。更に色々な対策も考えていきたい。

問 下火月下水路暗渠部分の土砂の堆積の確認は。

答 暗渠の部分は土砂の堆積がないことを確認している。

問 R.V.パークの利用実績は。

答 33台、78名の利用があり、アンケートによると静かである。トイシや温泉が近くて良い反面、周辺やトイシが暗い。和式トイシの改善をしてほしい等の意見があり、トイシ改善及び照明については、今年度で対応している。

問 児湯フードビジネス先進地視察研修内容は。

答 大分県の㈱タカヒコアグロ・ビジネスで地熱を利用したパブリカのバイオ栽培施設。同じくパブリカ栽培している農業生産法人㈱リツチフィールド由布。(有)夢野菜あさいファームの施設。ここは、人工の光型立体水耕栽培をしており、光、温度、肥料など全てコンピューターで管理している。また、門川町にあるレタスの水耕栽培している宮崎県ひむか野菜工房を視察した。

問 一ツ瀬川、土地改良事業国営未施工地区貸付金の県と市町の負担割合が変わっていると思うが。

答 昭和61年から平成7年は、県5分の4 市町が5分の1 平成8年から平成14年が、県3分の2 市町が3分の1に変わった。

問 口蹄疫復興ファンデで、平成27年度まで花守山を整備したが、これから花守山に対する復興が、どのように期待されるか。

答 点在する、町内の各観光地を線でつなぐことで、観光コースとし観光客の増加が期待される。

問 自立支援協議会での課題とは。

答 「記念講演会」は明倫堂文庫を学ぶ会の協力で開催し、120名の参加があり、「クリスマス朗読ライブ」には親子連れを含む140名の参加があった。

問 図書館記念行事の内容は。

答 正規職員の負担が減り、きめ細やかな教育を実施することができ、学力向上につながっている。

問 問題を抱える子どもの支援体制は。

答 特別支援学級の児童生徒の増加、適応指導教室の利用が増加した。学校と連携しながら自立支援会議を開催し早期の学校復帰を支援している。



クリスマス朗読ライブ



整備された花守山